

ようざん通信

発行日:平成20年11月1日 第8号

スーパーデイようざん飯塚1周年を迎えて

スーパーデイようざん飯塚はおかげさまで、10月1日をもって一周年を迎えることができました。これも、利用者様はもちろん、そのご家族様、慰問ボランティアの方々、地域の方々のご支援のおかげだと心より感謝しております。今回、その感謝の気持ちを何とか形に出来ないものかと考え、利用者様、ご家族様、慰問ボランティアの方々、地域住民の方々に参加して頂き、“交流”というテーマのもと“一周年記念 感謝祭”を10月25日(土)に開催いたしました。

認知症の方々を支えていくことを考えたときに、私たちサービス提供者(介護者)だけの力では、問題解決に困難を感じる時があります。しかし、ご家族様、ご近所の方々、あるいはボランティア様など、地域全体で協力し合い、手を取り合っていくことで、初めて認知症の方を支えていけるように思います。ですから、まずはその第一歩として、交流を通し、親睦を深め、今後の認知症ケアに生かしていけたらというのが、企画開催のもう一つの理由です。

感謝祭当日は、多くの方々が来所され、皆様とても良い雰囲気でも和気あいあいと会食を楽しまれていらっしゃいました。スライドショーでは、一年間の思い出写真に笑顔がこぼれている方や、慰問の方によるフラダンスでは先生に合わせてフラダンスと一緒に踊っている方や、じっと真剣に鑑賞している方もいらっしゃいました。又、ビンゴゲーム大会では、皆様、大いに盛り上がりました。

スーパーデイようざん飯塚は、民家改修型のデイサービスということで、決して素晴らしい設備が整っているわけではないかもしれませんが、他にはない環境の良さはもちろん、その他にも“ハートケア”(精一杯の気持ちで向き合う)という強みがあります。その強みを胸に、今後もスタッフ一同、皆様のご期待、ご希望に添えるよう全力で二年目に取り組んでいきたいと考えております。

(スーパーデイようざん飯塚 管理者 石原)



みんなで会食をしました



フラダンスを披露していただき、ご利用者様と一緒に踊りました



ビンゴゲーム大会で大変盛り上がりました



スライドショーでこの1年の様子を見ていただきました



スーパーデイようざん栗崎



秋も深まり、朝夕はめっきり冷え込む季節になりましたが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？
スーパーデイようざん栗崎もオープンしてから半年が過ぎました。利用者様の顔ぶれも少しずつ増え、ユニッ

ト内には明るい声が聞こえる毎日です。レクリエーションも“利用者様に楽しんで頂ける企画を”と、日々考えております。

先日は近所の畑をお借りして、“秋の味覚”のひとつでもある“サツマイモ掘り”を実施しました。畑仕事の経験がある利用者様は、慣れた手つきでスコップで穴を掘り、蔓付きの大きなサツマイモを沢山収穫することができました。収穫したサツマイモは後日“スイートポテト”を作り、おやつとして

皆で楽しむことができました！利用者様からは、「お芋がほくほくしておいしい！」とお言葉を頂き大好評でした。

また、秋晴れの日には、ちょっと足を延ばして藤岡市の“三名湖”までドライブに行きました。山に近い為、空気も澄んでいて「とっても気持ちいいねえ！」と笑顔で話される利用者様もいらっしゃいました。「紅葉の時期にまた来たいね！」とのリクエストも頂き、苑内では味わえない贅沢なひとときを楽しむことができました。

これからも各種外出行事等充実させ、明るく楽しいユニット作りをスタッフ一同心掛けて行きます！！

(小金澤)



小規模多機能型居宅介護施設

ケアサポートセンターようざん



外に出ると、どこからキンモクセイの香りがしてきます。木犀の花言葉は香りでその所在を知らせるので「謙虚」とありました。この香りがすると秋が日に日に深まっ

ていくのを感じます。

ケアサポートセンターようざんでは、10月6日から3日間午後のレクリエーションの時間を活用し、秋の味覚や季節を感じていただこうと旧榛名町にある梨園へ梨狩りに出掛け

ました。梨園に着くとはりきって梨狩りを始められて楽しそうな笑顔を見る事が出来ました。梨の木の下で梨を「おいしいね」とたくさん食されていました。また梨をむいて他の利用者様に振る舞う姿等普段見ることの出来ないご利用様の姿をみて、一緒に来てよかったと思いました。

(清水)



シャンソンを披露していただきました

10月14日「シャンソン」を高崎在住の関様に初めて来ていただきました。朱色のドレスに身を包み、プロ級のいでたちで「恋心」「ろくでなし」「サント・ワ・マミー」「待って！」「桜の実頃」「小雨の降る径」「枯葉」「愛の賛歌」以上の8曲を披露してくださいました。関様は、他の施設でも慰問を経験されているそうで、利用者様も巻き込んでの熱唱に大いに盛り上がりました。大変楽しい一時を過ごすことができました。これを縁にまた足を運んでいただけたらと心からお待ちしています。

(白石)



スーパーデイようざん



秋風が全身を吹き抜ける今日この頃これから寒くなり風邪やインフルエンザなどでお休みされる方がいらっしゃるでしょう。そこで予防対策として

1. 栄養と睡眠を十分とる
2. マスクをする
3. 適度な温度、湿度を保つ
4. 外出後の手洗いとうがいの励行

の4点が日常生活で出来る予防方法です。スーパーデ

イでは、散歩から帰った際は、手洗いうがいを実施しています。咳や体熱感がある時は早めの受診をお勧めします。私達職員は皆さんの笑顔が喜びです。自分たちのつくったものが感謝されるならそれが生き甲斐かなあーと思います。(Ns 日田)



小規模多機能型居宅介護施設

ケアサポートセンターようざん栗崎



木の葉もだんだんと色づいて日増しに秋も深くなってまいりました。ケアサポートようざん栗崎では、利用者様と一緒に『ぶどう』の壁飾りを作りました。

出来上がった作品に、利用者様から「きれいね〜。」「美味しそうにできたわね〜。」と声が聞かれています。こつこつと頑張った作品ができたことを喜びました。

また、おやつ作りでは昔懐かしい『じり焼き』をつくりました。今回のじり焼きはシンプルに砂糖醤油で召し上がっ

て頂きましたが、つくっている時から、色々な意見があり、「味噌を入れて昔は食べたわよ。」「葱を入れてもいいわよね。」「砂糖も入れたよ。」と皆様からたくさんの声がありました。次回のおやつ作りの意見交換もできました。普段のレクリエーションには、あまり積極的でない利用者様も積極的にお箸を持ち、じり焼きを器用にひっくり返していました。今後も、利用者様と話しあいながらメニューを考え、昔懐かしいおやつなどをつくっていききたいと思います。(只木)



小規模多機能型居宅介護施設

ケアサポートセンターようざん並榎



金木犀も香り過ぎしやすい季節となって参りました。ようざん並榎では10月7日に榛名へ梨狩りに出掛けてきました。少し肌寒く感じましたが天候も良く気持ちよく外出

出来ました。私が考えていた以上に梨の木は低く背の高い男性のご利用者様や職員は頭上に注意をし、足下も転倒の無いように声かけをして安全に誘導しながら行いました。お土産用に梨を2つずつ狩ったり、たくさん梨をたべたりしました。みなさん「とても甘くてみずみずしいよ。来て良かった」

「こんな良いところへ連れてきてくれてありがとう」と笑顔でおっしゃって下さりました。今の季節しか楽しめない梨狩りにご利用者様と一緒にいき、普段見られない笑顔や言葉を聞くことができ、とても充実した一日となり貴重な体験をさせて頂きました。これからもご利用者一人一人と向き合い皆さんが楽しく毎日を送ることができるよう支援していきたいと考えています。

(伊藤)



グループホームようざん



朝晩すっかり肌寒くなり高い山々が赤や黄色に色づき紅葉が見頃になり始めた今日この頃、グループホームようざんでは、外食・花見ドライブを計画しました。

10月2日快晴、食事の前に乗附緑地のコスモスを散策、時々ゆれるコスモスの間を歩き、釣りをし

ている方々とも談話されたりとすがすがしい一時を過ごしました。いよいよ昼食です、皆様の意見が全員一致でお寿司に決まりました。今回は、すしおんどへ行きいつもと目先が変わってか、たくさん召し上がり満腹で帰ってきました。次回は菊を見に行く予定です。おたのしみ

(白石)



デイサービスようざん並榎



秋“本番”となり、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。山々は色づき紅葉狩りの季節、今年は寒暖の差があり見応えがあるようです。

デイサービスようざん並榎では、コスモスの壁画から紅葉へと模様替え！燃えるような山、イチョウの葉やモミジの葉いっぱい色づいています。切ったり、貼ったり、塗ったりと利用者様に頑張ってもらいようやく素敵な壁画が仕上がり秋一色になりました。

秋といえば“食”の秋でもあります。おやつにサ

ツマイモをふかして食べたり、肉まん、あんまん作りにも挑戦してみました。あんこがはみ出たりと色々な形が仕上がり“笑”の中、熱々のおまんじゅうを美味しく食べることが出来ました。これからも目で見て、食べてと季節を感じていただけたらと思います。職員にとって利用者様一人一人が笑顔で元気で楽しみに通って頂けるのが“一番”です。体操にレクリエーションにと色々アイデアを出し合いながら楽しんで頂けるよう益々頑張っていけたらと思っています。

(猪俣)



居宅介護支援事業所ようざん



朝夕の寒気が身にしみるところとなりました。

暖房器具が欠かせない季節、気をつけたいのが「低温やけど」です。使い捨てカイロやこたつ、電気あんか、湯たんぽ、ホットカーペットなど、普段危険を感じる事なく使っているものが原因になります。

「温かくて快適」と感じる温度でも長時間、体の同じ部分にふれていれば、皮膚は熱による損傷を受けます。低温やけどを起こす部位は、脚がほとんどです。脚は感覚が鈍く、また血行がとどこおりやすいために、やけどを起こしやすいため、とくにかかとやくるぶし、すねなどは、皮膚のすぐ下に骨があるため、熱源に押しつけられる形でふれていると、毛細血管が圧迫されて血流がとどこおり、その部分に熱がこもって低温やけどを起こしやすくなります。ホットカーペットやこたつで、そのまま眠ってしまうようなことがないように気をつけましょう。

◎特に次のことに注意をしましょう。

・暖房器具はつけっぱなしにしない事。
低温やけどの予防で大切なのは暖房器具をつけっぱなしにしない事です)

・熱源に直接触れない
使い捨てカイロは必ず衣類の上に貼る
湯たんぽは厚手の布製の袋に入れて使用する。
(タオルに巻いて使用するとずれる事も・・・)

・長時間同じ場所に固定しない。
(使い捨てカイロは同じ場所に長時間あてない
使用時間を守る)

・睡眠中は使わない
こたつやホットカーペットで眠らない。使い捨てカイロを使用したまま眠らない。
電気あんかや電気毛布は早めにセットし、就寝時には電源を切るか、タイマーを1～2時間に設定する。

<これから訪れる厳しい冬を、快適に安全に迎えるために上記の事に注意しましょう。>

(小板橋)

2008年 11月

日 月 火 水 木 金 土

<p>イベントの追加や予定の変更されることがあります。最新の情報はホームページの“ようざんカレンダー”をご確認ください。</p>						1
2	3	4 理容日 (上並榎・栗崎)	5	6 南京玉すだれ (上並榎) 日舞(栗崎)	7	8 大正琴(栗崎)
9 フラダンス (上並榎)	10 沖田マジック (上並榎)	11 むつみ会(栗崎)	12 理容日 (飯塚)	13 理容日 (飯塚)	14 避難訓練 (上並榎) ギター演奏 (上並榎)	15
16	17 避難訓練(飯塚)	18	19 理容日 (上並榎・栗崎) ギター演奏(栗崎)	20 ハーモニカ演奏 (上並榎) マジックショー (栗崎)	21	22 南京玉すだれ (栗崎)
23	24	25 避難訓練(栗崎) エレクトーン演奏 (上並榎)	26	27	28 ギター演奏 (上並榎) フラダンス(栗崎)	29 松扇会(栗崎)
30						

ホームページのお知らせ

当施設の案内やレクリエーション活動の状況を定期的に更新しお知らせしております。また、施設のブログや施設長のブログも公開しておりますのでご覧下さい。ブログは携帯電話でもご覧頂けます。

ようざんホームページ

<http://youzan.jp> (PCのみ)

ケアサポートセンターようざん

検索

ホームページではようざん通信のバックナンバーをダウンロードできます。

ようざんブログ

<http://blog.livedoor.jp/youzan8/>

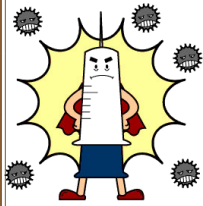


施設長ブログ

<http://blog.livedoor.jp/youzan6/>



高齢者のインフルエンザ 肺炎併発し不測の事態も — 予防ワクチン接種を —



インフルエンザで、気を付けたいのがお年寄りのケースです。毎年、インフルエンザにかかって死亡するお年寄りが絶えません。その要因は、たかが風邪ぐらいと軽視することにあります。インフルエンザと単純な風邪とは違うので、注意が必要となります。

● 基礎疾患も悪化

インフルエンザは、ほとんどが感染力の強いA型やB型ウイルスが原因。これらウイルスに対する特効薬がないため、安静が治療の第一になります。通常、一般の成人なら、かかってから2、3日休むと、ウイルスに対する抵抗力ができ、症状は良くなります。ところが、お年寄りは総じて体力が低下している上、基礎疾患として何らかの病気を持っているケースが多いため、肺炎を併発したり、基礎疾患を悪化させたりして、最悪の事態を招きやすいです。

実際、インフルエンザが大流行した1975-76年には、インフルエンザによる死亡者の95%を65歳以上の人が占めたほどです。高齢者が、極めて重要な危険因子になっています。さらに、基礎疾患のある高齢者は、危険度が増すのは確かなことです。最近では、インフルエンザワクチンが任意接種になったせいか、積極的に受ける人が少ないようですが、インフルエンザは単なる風邪とは違うことを十分認識し、予防のためにワクチン接種を受けるのが賢明といえます。

ただし、インフルエンザのワクチンは卵から作られているので、卵アレルギーのある人は、接種しない方がよいとされています。

● 必ず医師の診断を

毎年、インフルエンザは12月ぐらいから本格的に流行します。予防接種の効果は接種後、2、3週間ほどで表れ始めるので、12月初頭には接種を終えるのが望ましいです。高齢者がインフルエンザにかかった場合は、早

期に発見し、肺炎など2次感染を防ぐことが第一。

インフルエンザの症状の特徴は、39-40度の高熱で、それも3-5日ぐらい続くのが一般的。そのほか、せき、たん、食欲不振を伴ったりします。家族や周りの人がこうした症状に気付いたときは、まず最寄りの内科を受診すべきです。

中には市販の風邪薬に頼る人もいるようだが、これは感心出来ません。高齢者は入院を要するケースもあるので、必ず医師の診断を受けることが大切となります。

2次感染の肺炎は、インフルエンザが治ったように見えたところに起こることが多いです。肺炎を併発すると、たんが濃い黄色や緑色になるなど、以前よりも汚いたんが増えてきます。

家庭では安静にするとともに、部屋の湿度を保ち、たんの量や色に注意する必要があります。

ようざん施設案内

事業所名	提供サービス	所在地
ケアサポートセンターようざん	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市上並榎町1180 電話 027(362)0300
ケアサポートセンターようざん並榎	小規模多機能型居宅介護	
スーパーデイようざん	認知症対応型通所介護	
グループホームようざん	認知症対応型共同生活介護	
デイサービスようざん並榎	通所介護	
居宅介護支援事業所ようざん	居宅介護支援	群馬県高崎市飯塚町1311-6 電話 027(370)4355
スーパーデイようざん飯塚	認知症対応型通所介護	
ケアサポートセンターようざん栗崎	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市栗崎町141-1 電話 027(353)4393
スーパーデイようざん栗崎	認知症対応型通所介護	

主権在客

(株) プランドゥ